

# 公益財団法人エプソン国際奨学財団

## 2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

### I. 法人の概況

#### 1. 設立年月日

1997 年 12 月 25 日

#### 2. 公益財団法人への移行

2012 年 4 月 1 日

#### 3. 定款に定める目的

この法人は、海外から我が国の大学に留学する優秀な学生や我が国から海外の大学へ留学する優秀な学生に対して奨学援助を行うとともに、国際的な教育・学術・文化の交流事業に対して助成を行うことにより、社会に有用な人材を育成し、もって我が国と諸外国の相互理解の促進及び国際社会の安定と繁栄に寄与することを目的とする。

#### 4. 定款に定める事業内容

定款に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 外国人留学生及び日本人留学生に対する奨学金等の支給
- (2) 奨学金の受給留学生に対する生活指導及び助言
- (3) 国際的な教育・学術・文化交流事業に対する助成
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 5. 行政庁

内閣府

#### 6. 主たる事務所

長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号

7. 役員等に関する事項

(1) 理事（任期：2023年6月8日～2025年定時評議員会終結の時まで）

監事（任期：2023年6月8日～2027年定時評議員会終結の時まで）

(2025年3月31日現在)

役職名	氏名	現職	勤務
理事長	碓井 稔	セイコーエプソン株式会社 相談役	非常勤
常務理事	阿部 栄一	セイコーエプソン株式会社 代表取締役 執行役員 人的資本・健康経営本部長	非常勤
理事	板生 清	東京大学 名誉教授、 お茶の水女子大学 学長特別招聘教授、 特定非営利活動法人ウェアブル環境情報ネット推進機構 理事長	非常勤
同	齋藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授	非常勤
同	杉田 健二	株式会社みずほ銀行 常務執行役員	非常勤
同	浅井 隆彦	株式会社八十二銀行 取締役会長 会長執行役員	非常勤
同	松田 千恵子	東京都立大学経済経営学部 教授 同大学院経営学研究科 教授	非常勤
同	守島 基博	学習院大学経済学部経営学科 教授 一橋大学 名誉教授	非常勤
監事	岩渕 道男	岩渕道男公認会計士事務所 代表 (公認会計士・税理士)	非常勤
同	山中 崇	山中崇公認会計士事務所 代表 (公認会計士)	非常勤

(2) 評議員（任期：2024年6月6日～2028年定時評議員会終結の時まで）

(2025年3月31日現在)

役職名	氏名	現職	勤務
評議員	光田 明正	長崎外国語大学名誉学長	非常勤
同	白井 克彦	早稲田大学 名誉顧問	非常勤
同	青山 和浩	東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授	非常勤
同	石崎 信憲	石崎・山中綜合法律事務所 代表弁護士	非常勤
同	望月 眞弓	慶應義塾大学 名誉教授	非常勤
同	小川 恭範	セイコーエプソン株式会社 代表取締役社長	非常勤
同	水上 昌治	セイコーエプソン株式会社 執行役員 経営管理本部長 兼 サステナビリティ推進室長	非常勤

(3) 選考委員（任期：2023年6月8日～2027年定時評議員会終結の時まで）

(2025年3月31日現在)

役職名	氏名	現職	勤務
選考委員	今野 浩一郎	学習院大学 名誉教授	非常勤
同	吉野 文雄	拓殖大学 教授	非常勤
同	鈴木 宏正	東京大学 名誉教授	非常勤
同	高倉 洋右	セイコーエプソン株式会社 人的資本・健康経営本部 人事部長	非常勤

## 8. 職員に関する事項

役職	氏名	担当職務
事務局長	相馬 智恵子	総務、財務、事業全般
職員	中村 玲子	事務一般

## II. 事業の概況

2024年は、自然災害が多く発生し、政治・経済の混乱も続き、特に物価高騰や円安は、留学生の生活維持に直接影響を及ぼすものであった。このような社会環境の中、当財団では、異文化社会において自らの可能性を伸ばすべく挑戦している留学生が、経済的な不安を抱えることなく研究/授業に集中し、将来につながる国際的な人的ネットワークを構築できるよう、奨学金支給ならびに交流事業を実施した。

### 1. 事業概要

4月に13名の新規奨学生を迎えた。これにより、当財団の設立(1997年)以来、奨学金支給した留学生総数は311名となった。(内訳は以下のとおり)

区分	学部生	修士課程	博士課程	合計(名)
外国籍留学生	—	171	127	298
海外派遣留学生(日本人)	13	—	—	13

4月の「奨学生採用式」は京王プラザホテル新宿に於いて、対象者13名全員が出席し和やかに実施した。新規採用者の中には財団初のアフリカ大陸出身者もあり、参加者はお互いの留学の目的や大学院での研究内容の発表に聞き入っていた。

8月の「セイコーエプソン株式会社の会社見学会」には、受給2年目の継続奨学生も合流し、セイコーエプソンの事業所見学を通じ、同社の理念や事業への理解を深めた。また財団所在地の長野県諏訪地方の歴史や風土を訪ねるプログラムを通じ、参加者相互の交流も深めることができた。

12月には新型コロナウイルス感染症流行前には毎年実施していた「同窓会」を、5年ぶりに銀座 Sun-mi 本店にて開催した。コロナ禍の時期に奨学生であり対面形式で交流することが全くできなかったメンバーも含め、日本在住の同窓生の半数近くの48名が出席し、旧交を温め合って盛況であった。昼食の後、全員でセイコーミュージアム銀座を訪問し、エプソンの祖業であるウォッチ事業の出発点である銀座で、セイコーの歴史をたどり、貴重で美しい展示品の数々を鑑賞した。

2月の「同窓会入会式」は、京王プラザホテル新宿で開催し、8名の奨学生が「同窓生」に加わった。

年間を通じて、奨学生の相互交流の機会を確保することができ、奨学支援ならびに交流事業の目的が達成できた。

## 2. 事業の実施状況

### (1) 奨学支援事業

#### ①2024 年度奨学金支給結果

対 象	外国籍留学生及び海外派遣留学生（日本人）
人 員	① 外国籍留学生： 新規採用者 11 名、2023 年度からの継続採用者 3 名、計 14 名。 新規採用は、東アジア地域出身留学生が多数となったが、財団初のルワンダからの留学生も採用した。 ② 海外派遣留学生（日本人）： 新規採用者 2 名、2023 年度からの継続採用者 1 名、計 3 名。 海外協定校への留学（10 ヶ月程度）は、新型コロナによる渡航制限期を経て、再び留学希望者が増加傾向にあるように感じられる。
支 給 額	月額 10 万円/人 (支給総額 1,910 万円)

#### ②2025 度奨学生募集・選考結果（選考期間：2024 年 10 月～2025 年 2 月）

対 象	① 外国籍留学生 ② 海外派遣留学生（日本人）
人 員	① 新規採用者 7 名、2024 年度からの継続者 7 名 ② 新規採用者 5 名、2024 年度からの継続者 2 名 合計 21 名

### (2) 奨学交流事業

#### ①交流会・募集選考

行 事 名	開 催 日	参加人数
奨学生採用式	2024 年 4 月 9 日(火) 理事長、常務理事、選考委員が出席し、新規採用奨学生を激励。於：京王プラザホテル新宿	13 名

会社見学会	2024年8月22日(木)～23日(金) 奨学生がセイコーエプソン㈱の見学及び クロック組立体験、地域観光などに参加。	13名
同窓会	2024年12月7日(土) 5年ぶりに開催。銀座 Sun-mi 本店にて昼食会 を行い旧交を温めた後、全員でセイコーミュー ジウム銀座を見学。	48名
継続者確認面談	2025年1月22日(水)、23日(木) オンラインにて実施。事務局長が対応。	7名
新規奨学生 採用面接	2025年2月4日(火) オンラインにて実施。 選考委員および事務局長が対応。	12名
同窓会入会式	2025年2月18日(火) 於：京王プラザホテル新宿 理事長、常務理事、選考委員が出席し、 同窓会入会者を激励。	8名

## ②機関誌「Rainbow」の発行

発行号	発行日等	発行部数
第27号	2024年12月	290部

※ 2024年の活動報告を記載し、奨学生、同窓生、関係大学、関係団体等に配布した。奨学生の自己紹介や同窓生からの現況報告・現役奨学生への激励メッセージを掲載し、誌面上での交流の場とした。同窓生からは例年の倍にあたる50名から、メッセージが寄せられた。また、理事長巻頭言、新任役員からの激励メッセージ等を掲載し、財団役員から奨学生への期待を伝える機会とした。

## (3) 奨学生からのレポート提出、生活指導・助言

■レポート提出： 4回/年(5月、8月、11月、2月)

■生活指導・助言：全ての奨学生レポートに対し、事務局長よりフィードバック・コメントを送信し激励した。また必要に応じて随時、事務局長・事務職員よりアドバイス・サポート対応を行っている。

#### (4) 国際的な教育・学術・文化の交流事業に対する助成事業

##### ①2024 年度助成金支給結果

区分	研究テーマ・シンポジウム名等	申請大学	助成金額
研究助成	観光地用パーソナルモビリティ開発に向けた搭乗者の心的状態と周囲環境との因果関係分析	公立諏訪東京理科大学	100 万円
国際交流助成	“The 7 <sup>th</sup> Asian Symposium on Materials and Processing 2024” 参加	名古屋大学	24 万円

##### ②2025 年度募集・選考結果（募集・選考期間：2024 年 11 月～2025 年 2 月）

区分	研究テーマ・シンポジウム名等	申請大学	助成金額
研究助成	帯電液滴の移動経路を制限した際の有機薄膜太陽電池の層構造制御技術の開発	公立諏訪東京理科大学	100 万円
研究助成	高効率スピン制御を実現する完全エピタキシャル酸化物超伝導デバイスの開発	東北大学	100 万円
国際交流助成	“10 <sup>th</sup> Americas Regional Conference of the ISTVS 2025” 参加	公立諏訪東京理科大学	50 万円

### 3. 重要な契約に関する事項 なし

### 4. 管理運営の状況

#### (1) 理事会

- ・第 50 回定時理事会（京王プラザホテル新宿）  
2024 年 5 月 21 日（火）  
議案 1：2023 年度事業報告および計算書類等承認の件  
議案 2：第 25 回評議員会招集の件  
議案 3：評議員定時改選 評議員候補者の件
- ・第 51 回理事会（決議の省略）  
2025 年 2 月 10 日（月）  
提案事項：第 26 回評議員会招集の件
- ・第 52 回定時理事会（京王プラザホテル新宿）  
2025 年 3 月 4 日（火）  
議案 1：2025 年度事業計画及び収支予算承認の件  
議案 2：2025 年度奨学生および学術等交流助成決定の件  
議案 3：セイコーエプソン株式会社との取引の件

(2) 評議員会

・第 25 回定時評議員会

2024 年 6 月 6 日 (木) (京王プラザホテル新宿)

議案 1 : 2023 年度事業報告および計算書類等承認の件

議案 2 : 評議員 定時改選の件

・第 26 回評議員会 (京王プラザホテル新宿)

2025 年 3 月 4 日 (火)

議案 1 : 2025 年度事業計画及び収支予算承認の件

議案 2 : 2025 年度奨学生および学術等交流助成決定の件

議案 3 : セイコーエプソン株式会社との取引の件

(3) 選考委員会

2025 年 2 月 4 日 (火) ※オンライン形式にて実施

内容 : 2025 年度新規採用奨学生選考面接

2025 年度学術等交流・研究助成案件選考

(4) 監事 : 決算監査実施 : 2024 年 4 月 26 日 (金)

(5) 行政庁提出書類

① 内閣総理大臣宛 2023 年度事業報告等に係る書類提出 : 2024 年 6 月 21 日

② 内閣総理大臣宛 役員変更届出提出 (評議員の異動) : 2024 年 7 月 3 日

③ 内閣総理大臣宛 2025 年度事業計画書及び収支予算書提出 : 2025 年 3 月 18 日

(6) その他

・留学生奨学団体連絡協議会総会出席 : 2024 年 7 月 2 日

・留学生奨学団体連絡協議会分科会及び賀詞交換会出席 : 2025 年 2 月 7 日

(7) 財務状況について :

財団資産の運用により、事業運営に必要な資金を確保できている。運用商品の選定については、資産運用規程に則り、信用度、運用期間等を考慮しながら行い、安定した収益確保に努めている。寄附金の受領はなかった。

5. 役員の異動

(1) 評議員 :

・2024 年 6 月 6 日より、評議員に石寄信憲氏、望月眞弓氏、水上昌治氏が就任した。同日付で、表 久雄氏、瀬木達明氏が退任した。

評議員任期は 2028 年 6 月開催予定の定時評議員会の終結の時まで。

(2025 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	現職	勤務
評議員	光田 明正	長崎外国語大学名誉学長	非常勤
同	白井 克彦	早稲田大学 名誉顧問	非常勤

同	青山 和浩	東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授	非常勤
同	石崎 信憲	石崎・山中総合法律事務所 代表弁護士	非常勤
同	望月 眞弓	慶應義塾大学 名誉教授	非常勤
同	小川 恭範	セイコーエプソン株式会社 代表取締役社長	非常勤
同	水上 昌治	セイコーエプソン株式会社 執行役員 経営管理本部長 兼 サステナビリティ推進室長	非常勤

### Ⅲ. 自律的ガバナンスの状況（自主的に行ったガバナンス体制充実のための取組）：

#### （１）法人内部における取組

- ・ 8月初旬、母体企業の内部監査部門による監査（概ね5年に一度、実施）を受け、指摘事項について12月までに改善策を実施し、改善内容が了承された。
- ・ 9月～11月にかけて内部規程類の点検を行い、法令改正に沿った内容への改定を実施した。
- ・ 個人情報の取扱いについては細心の注意を払い、個人情報管理規程に沿った運用を行っている。個人情報の取得・利用・廃棄については都度記録簿に記録し、その内容を、毎月、常務理事に報告している。
- ・ 文書管理： 機密情報区分を明確にしたうえで、情報資産管理台帳を作成し、各書類には区分表示を行い、ファイルは施錠可能なキャビネットに保管し、デジタル情報についてはアクセス権を限定し情報管理を行っている。

#### （２）各機関における取組

##### ●構成について

- ・ 理事、監事、また理事と監事間において、特別利害関係にある者はいない。
- ・ 理事、監事のうち、それぞれ1名以上が外部理事、外部監事に該当している。（理事総数8名：内、外部理事6名）、（監事総数2名：内、外部監事2名）

##### ●選任について

新任役員の選出にあたっては、多様性を尊重し、年齢、性別、経歴（専門性）を考慮して行っている。23年度より理事に、24年度より評議員に女性を選出した。

##### ●執行状況告について

- ・ 理事会、評議員会、それぞれにおいて代表理事および業務執行理事より、対象期間における業務執行状況の報告を詳細に行っている。

#### （３）不祥事の予防・発見・事後対応について

- ・ 利益相反取引に関しては、該当するものがあれば、金額の多寡にかかわらず、理事会において決議し、評議員会においてもその内容を報告している。  
予定金額と実績が異なった場合は、実績金額と差違理由を翌事業年度の理事会において決議している。
- ・ 内部通報、ハラスメント通報に関しては、母体企業の通報窓口（外部窓口含む）が対応可能であることを母体企業との間で確認し、職員に通知している。

#### （４）その他の取組

- ・ 9月と3月に防災訓練に参加し、安否報告訓練、帰宅連絡訓練を行った。

以上